

第49回淑楓祭

テーマ

燎

10/26(土)・27(日)

大学

笑顔があふれる淑楓祭

長久手キャンパス

今

年の淑楓祭は「燎(かがりび)」をテーマに掲げ、第49回を迎えました。テーマの「燎」には、ずっと燃え続ける火を意味することから、これまでの淑楓祭の伝統を引き継ぎ、今年はこれまで以上に皆様に楽しんでもらえるものにし、という思いを込めました。キャンパス内はテーマの「燎」を連想させる装飾物で華やかに彩られました。

今年からセンタースクエアへ移動したメインステージや、はっぴー広場で行われたはっぴーステージでは、学内団体のよさこい探究会「鳴踊」やチアリーディング部「RANGERS」、他大学の団体による圧巻のパフォーマンスがあり、大学祭実行委員会によるクイズ企画では、多くの来場者の方楽しんでいただくことができ、笑顔があふれました。



バルーンリリース

大学祭実行委員会企画としては縁日を開催し、両日多くのお子様に楽しんでいただきました。また、本学教員による講演会を行い、心理学や映画に関する普段の講義では聞くことのできない貴重な内容を拝聴することができました。天気には恵まれた今年の淑楓祭は2日間で4742人の方に来場していただきました。大きな節目を迎える来年の「第50回淑楓祭」へ良いバトンタッチができれば幸いです。最後に淑楓祭にご尽力いただきましたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。



茶華道部



正門装飾



B&Bオーケストラ



模擬店

今

年度の淑楓祭は、ずっと燃え続ける火のように、48回まで続いたこの淑楓祭を今まで以上にお客様に喜んでもらえる最高なものにした...という実行委員の思いを込めて、「燎(かがりび)」をテーマに淑楓祭を迎えました。

コロナ禍以降、盛り上がりを取り戻しつつあるこの勢いを保ちながら、より活気のある淑楓祭にするために変化をすることに決めてよく考えてきたことで、総来場者数2414人の方にご来場いただき、昨年度よりも大きな盛り上がりを見ることができました。卒業生である室田伊緒女流三段による将棋企画、近隣小学校のご協力による

星ヶ丘キャンパス

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。

作品展示会等新企画も好評をいただくことができました。

本学学生だけでなく、高校生やファミリー層のお客様から楽しかった等のお声をいただき、実行委員として大変嬉しく思っています。

来年度はいよいよ第50回を迎えます。記念すべきこの年に向けて、淑楓祭の開催意義や今年度の問題点に向き合い、より多くの方にお楽しみいただける淑楓祭を目指して尽力してまいります。

最後になりますが、ご協力いただいた関係者の皆様、お越しいただいた全体的にお客様に実行委員一同心より御礼申し上げます。



よさこい探究会「鳴踊」



模擬店



子ども企画



星ヶ丘軽音楽部



階段装飾

● 沖縄研修旅行

11/4(月)～7(木)

中学校

11

月4日～7日、沖縄に研修旅行へ。沖縄独自の自然・

風土・歴史・文化を体感するため、実際に自分の目で見て、現地の方々の言葉に耳を傾け、過去から現在に至る沖縄での出来事、問題を感じ性豊かなこの時期に考え、主権者の考えをもつてほしいと思います。

研修旅行を充実させるための事前学習として、「沖縄戦ドラマ」とうきび畑の唄」の鑑賞、沖縄に関する調べ学習、折り鶴を作成しました。また、沖縄クイズ大会では楽しみながら知識を深めました。研修旅行1日目は自然や歴史、風土を学ぶためにガンガラーの谷へ行き、鍾乳洞や亜熱帯の森を散策。2日目は、平和学習として沖縄南部の戦跡を巡りました。ひめゆり平和祈念資料館では「次世代の語り部」による平和

講話を聞き、折り鶴を奉納。また、慰霊祭が毎年催される平和祈念公園や戦時中の避難壕、ガマも見学しました。3日目は戦争当時の弾痕がある壁や避難壕が現在も残されている嘉数高台公園から普天間飛行場を遠望。公園近くの中城城跡も見学し、歴史と文化を学びました。

午後から選択制でマリンスポーツやシーサー作り、さとうきび収穫、沖縄菓子作り、三線の体験学習でしたが、天候により一部のマリンスポーツができず残念でした。4日目は首里城公園で沖縄の象徴であるではのプログラムが盛りだくさんの行程ですが、多くの学びが凝縮された沖縄研修旅行を今後も発展させていきます。



ひめゆり平和祈念資料館



平和の火



ドラゴンボート



さとうきび収穫



ガンガラーの谷

高等学校

● 九州研修旅行

10/28(月)～11/1(金)

高

校2年生の研修旅行は10月28日から11月1日まで実施され、九州の特色ある文化・歴史・社会・自然を学びました。

今年度は1日目に熊本城を見学し、2日目の午前には阿蘇山・草千里へ。阿蘇山の火口見学は2016年の熊本地震以来です。かつてのロープウェイはなく、シャトルバスで山頂へ向かいました。小雨の中、火口は水蒸気で覆われ時折水面が見える程度でしたが、生徒たちは草千里も含め、初めて見る景色の広大さに圧倒されたようです。続いて午後にはフリーで雲仙に渡り、原城跡と砂防みらい館のコース別研修を行いました。

3・4日目の旅程に組まれた平和学習は本校教育課程のメインテーマの一つです。総合探究や理科・国語の授業など事前学習を経て、現地に足を踏み入れます。原爆資料館、浦上地区の戦争遺跡を訪れ、被爆体験を聞き、その後の慰霊祭では平和と戦争と自分の心に静かに向き合いました。長崎市内班別研修では、長崎在住の方々に「平和」についてイン



浦上天主堂

「学びも出会いも全部充実した5日間だった。授業で知識を得るだけでなく、五感を使って学ぶことはとても重要だと感じた。現地に行ったからこそ知れたことがあり、そこからまた新たな考えが生まれ視野が広がった。一生忘れることのない旅となった。」

生徒の感想に未来への希望を感じました。



爆心地公園 慰霊祭 献花



太宰府天満宮



眼鏡橋にて



平和公園



阿蘇山火口